

いつまでも自分らしく

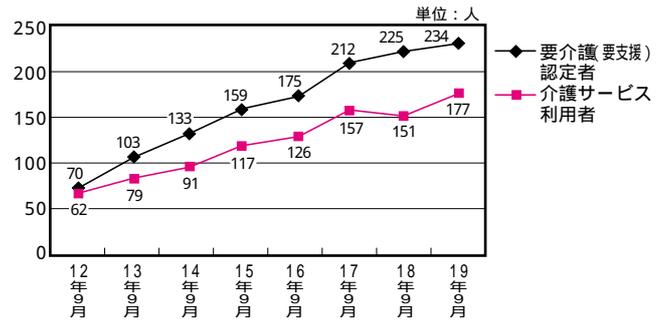
神崎町の介護保険の状況



平成12年4月にスタートした介護保険制度も今年で8年目となり、制度自体もだんだんと町民の皆さんに浸透しつつあります。しかし一方では、要介護認定者や給付費が増加しつつあり、平成18年4月には大幅な改正も行われたところです。今回は、神崎町の介護保険の状況についてお知らせします。

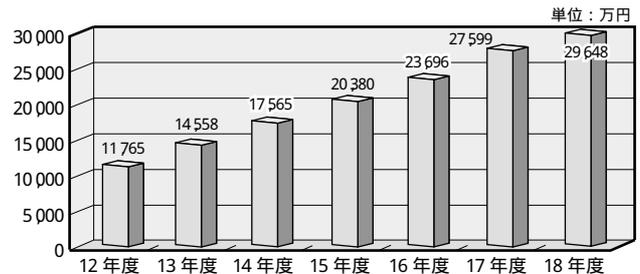
1 要介護（要支援）認定者・介護サービス利用者の状況

要介護（要支援）認定者は導入当初の伸びに比べて、やや落ち着いてきたものの毎年増加しています。全体の認定者は制度開始から7年間で約3.3倍になっています。



2 各年度の介護給付費の状況

制度発足から5年間は、給付費の前年比が15%を超える伸びを示していましたが、平成18年度は、7.4%ほどの伸びにとどまっています。制度開始から7年間で介護給付費は、約2.5倍となっています。



3 サービス種類内訳

介護保険のサービスには、大きく分けて在宅サービス給付、施設サービス給付があり、平成18年度給付費総額は2億9,648万円となっています。

在宅サービスでは、訪問介護と通所介護の利用が多く、2つのサービスで全体の29%、約8,500万円となっています。

施設サービス（介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、介護老人保健施設、介護療養型医療施設）は、全体の35.4%を占め、約1億501万円となっています。

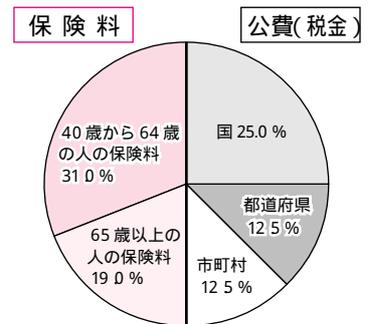
平成18年度給付費2億9,648万円の内容

単位：万円

訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	通所介護	通所リハビリテーション	福祉用具貸与・購入	住宅改修	特定施設入居者生活介護	グループホーム	ケアプラン	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	特定入所者介護	その他のサービス
2,199	576	402	6,300	1,222	1,234	199	308	1,068	1,769	6,482	3,843	176	1,153	2,717

4 給付費に占める負担

介護保険は、40歳以上の人がある保険料と、国・都道府県・市町村からの公金（税金）を財源として、介護が必要になった人に対して介護サービスを提供しています。65歳以上の人（第1号被保険者）は、年金からの天引きや納付書で市町村に保険料を納めます。40歳から64歳までの人は、社会保険や国民健康保険などの医療保険と一緒に保険料を納めます。給付費は年々増加傾向にありますので、今後とも適切なサービス利用に心がけていただくとともに、保険制度の運営にご協力をいただきますようお願いいたします。



5 65歳以上の人（第1号被保険者）の保険料基準額（年間）近隣市町等比較

単位：円

神崎町	成田市	香取市	多古町	東庄町	千葉県加重平均
34,800	35,000	32,400	28,422	32,400	43,072

神崎町の保険料基準額は、県内56市町村の中で8番目に安い保険料です。

◎詳しくは、町保健福祉課介護保険係 ☎ 1603 へ。